

## 令和6年度 第2回 府中市市民協働推進会議協働事業選定・評価部会 開催結果

- 日時 令和6年6月24日（月） 午後1時20分から午後5時30分まで
- 会場 府中市市民活動センター「プラッツ」6階 地域支援事務室、第2会議室
- 出席者 （委員）鈴木琢真部会長、伊沢美由紀部会員、山根浩子部会員  
（事務局）小塚協働共創推進課長、加瀬協働共創推進課主査、  
小堀事務職員、小池事務職員
- 欠席者 なし
- 傍聴者 なし（事業評価のため非公開）
- 議事 令和5年度提案型協働事業・価値共創促進事業報告会に関わる評価審査

### ■会議内容

- 1 提案型協働事業・価値共創促進事業について各団体から成果報告を受け、各部会員が府中市提案型協働事業評価制度実施基準、府中市価値共創促進事業評価制度実施基準に基づき、各事業について意見交換、評価を行った。
- 2 行政提案型協働事業「市内公園を活用したコミュニティガーデンの創出（2年目）」は、「行政と団体が同じ目線で課題を認識し役割分担を行い、事業を実施できていたことが評価できる。また、市民が自主的に活動できる協働の仕組みづくりがされており、将来的に各地で展開できる持続可能な事業として期待できる。」と結論付け、「S」評価とした。
- 3 市民提案型協働事業「うたうまち府中プロジェクト」は、「演奏者の個性は活かされていたようだが、「ロゴプロジェクト」普及活動に大きく課題が残った。音楽は多様な連携が実現できると思われるため、府中市内の音楽活動団体との連携を視野に入れるなど、より効果的に事業展開する余地があったように見受けられた。」と結論付け、「B」評価とした。
- 4 市民提案型協働事業「府中市・共生タウン化プロジェクト」は、「事業目的が明確であり、実証実験、アプリ開発等の新規事業への挑戦は評価できる。しかし、イベント当日の運営や行政との協働について一部改善が必要である点などがあつた。今後は他の様々な主体と連携を検討するなど、障害者への合理的配慮についてより深く理解してもらえよう取り組むことに期待する。」と結論付け、「A」評価とした。
- 5 市民提案型協働事業「ヤギがつなげるまちづくり」は、「ヤギ・小動物のふれあいイベントについて、参加者アンケートの満足度が高かつたことは評価できる。ヤギの活用をきっかけに、高齢者同士の交流機会の創出や災害時の避難方法の周知など、複数の目標があるため課題認識や目的の共有を徹底し、今後も協働の手法により動物にも優しい、人にも優しい事業に取り組むことに期待する。」と結論付け、「B」評価とした。

- 6 テーマ型価値共創促進事業「循環型再生アクリル板「リアライト」を使用したSDGs普及啓発事業」は、「持続可能な町づくりの考えは素晴らしい。SDGsポスターコンクールの申請件数が少なかったため、PRに力を入れることで啓発と実践が伴い、より多くの市民に還元できると共に、協働の手法でより事業を最大化していくことに期待する。」と結論付け、「A」評価とした。
  
- 7 フリー型価値共創促進事業「コミュニティバスデジタル化促進事業」は、RYDEアプリの使い勝手の向上、他の課のアプリ(ごみ分別アプリ等)との併合等検討の余地がある。今後当取組が改善され、買い物困難者などの不利益を被っている市民への還元、商店街を通じての地域活性化を図るような交通網の再編をしていくことに期待する。」と結論付け、「A」評価とした。